



令和8年度 富山発達障害研究会 症例検討会・情報交換会
令和8年度 日本臨床発達心理士会北陸支部第2回研修会
(同時開催)



近年、特定分野に特異な才能のある児童生徒(あるいはギフティッド)の学習上・学校生活上の困難が教育現場で注目されるようになってきました。今回、高い能力と同時に認知の偏りや学習困難を併せ持つ子どもに注目し、その「生きづらさ」と教育支援のあり方を明らかにしてきた室橋春光氏を講師にお招きし、ギフティッドへの理解を深めていきたいと思います。

日時: 令和8年10月25日(日) 13:15~16:30
会場: 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター内
地域リハホール

“ギフティッド” ~その生きづらさを考える~

(13:15~13:20)

開会あいさつ	森 昭憲氏	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
	鈴木 智子氏	日本臨床発達心理士会北陸支部長
司会・企画説明	高畠 佳江氏	日本臨床発達心理士会北陸支部

第1部 (13:20~15:00)

講演 「ギフティッドという概念と心理的特性について

ー<ギフティッドあるあるカルタ>を利用した協働作業を通してー」

講師: 室橋 春光氏 (北海道大学名誉教授)

第2部 (15:15~16:30)

「グループ協議」

閉会・まとめ 榎戸 芙佐子氏 医療法人社団 和敬会 谷野呉山病院

参加対象: 発達障がい児・者の支援者(公的民間は問いませんが守秘義務を負える方)

会場定員: 150名(富山発達障害研究会: 100名、日本臨床発達心理士会: 50名)

参加費: 1000円 申し込みは、Peatixのウェブサイトをお願いします。(9月1日より参加登録開始。次ページをご参照ください)

主催: 富山発達障害研究会 [代表: 森 昭憲(富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、副代表: 宮一志(富山大学教育学部)]

日本臨床発達心理士会北陸支部

後援: 富山県、富山県教育委員会

会場: 富山県リハビリテーション病院こども支援センター内 地域リハホール(次ページをご参照ください)

【講師紹介】

室橋 春光氏 北海道大学名誉教授

【講師プロフィール】

1985年-2000年 富山大学教育学部にて養護学校教員養成課程を担当
2000年-2015年 北海道大学教育学研究院にて特殊教育・臨床心理学グループで教育・研究に従事
2017年-2022年 札幌学院大学心理学部にて臨床心理士・公認心理師養成に従事

【講演概要】

ギフティッドとは何か。ギフティッドである人たちは、特定の領域において、同年代の仲間と比べて、明らかに上位に位置するパフォーマンスを示すという見解がある。他方で、このような概念には、妥当性がなく教育的効果も乏しいとする見解もある。前半では「ギフティッド」の概念をめぐる、才能、能力、環境などとの関係について考えてみたい。キリスト教に源流のあるこの言葉については、欧米諸国と日本で、理解のしかたに異なる面もあるといえる。後半では、「ギフティッド」に関する理解を深めるために、参加の方々にグループに分かれて共同作業をしていただければと考えている。

【Peatixによる参加登録方法】(9月1日より登録可能です)

※参加申し込みは、10月20日(火)22時をもって締め切ります。

本研究会は、Peatixによる参加登録が必要です。

<https://peatix.com/event/5113788>



※日本臨床発達心理士会会員の方で、更新ポイント取得を希望される方は、Peatixによる参加登録ではなく、

日本臨床発達心理士会ホームページ内「研修会一覧・参加申込」より申込をしてください。(日本臨床発達心理士会から申し込む場合の締め切りは10月12日(月)です。)

パソコン、もしくはスマートフォンより、上記アドレス、もしくはQRコードにアクセスして参加登録をお願いします。

参加登録にあたってPeatixのアカウントが必要です。初めての方は、Peatixの新規アカウントの作成(お名前、メールアドレス、パスワード)をお願いいたします。

【開催場所のご案内】

